

平成26年度

特定非営利活動法人 **子どもの森**

総 会 議 案 書



10周年記念行事（エコフェスタ）

日 時：平成26年4月27日（日）9時30分～

場 所：もり まなびや
森の学舎

総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議長選出
3. 議事録署名人任命
4. 資格審査報告
5. 報告事項
 - I. 平成25年度活動経過報告について
 - II. 、 、 収支決算報告について
 - III. 監査報告
6. 議案
 - I. 平成26年度活動方針（案）について
 - II. 、 、 活動計画書（案）について
 - III. 定款改定
7. 議長降壇
8. 閉会のことば

お楽しみ会（11：30～）

総 会	日 時	場 所
設立総会	平成15年7月12日（土）13:00	子どもの森事務所
第2回通常総会	平成16年4月15日（木）10:30	子どもの森事務所
臨時総会（第3回）	平成16年11月19日（金）19:30	クリエイティブセンター門川
第4回通常総会	平成17年5月8日（日）10:00	門川町商工コミュニティセンター APIO
第5回通常総会	平成18年4月22日（土）18:00	門川町中央公民館
第6回通常総会	平成19年5月20日（日）16:00	ガーデンベルズ延岡エメラルドの間
第7回通常総会	平成20年5月17日（土）10:00	（仮称）森の学舎（旧西門川小学校松瀬分校）
第8回通常総会	平成21年4月25日（土）10:00	森の学舎
第9回通常総会	平成22年4月25日（日）10:00	森の学舎
臨時総会（第10回）	平成22年10月13日（水）19:30	クリエイティブセンター門川
第11回通常総会	平成23年4月24日（日）9:30	森の学舎
第12回通常総会	平成24年4月22日（日）9:30	森の学舎
第13回通常総会	平成25年5月6日（月）9:30	森の学舎

はじめに

次世代を担う子どもたちのことを考えた時に、自然環境をこれ以上悪化させることはできないと思った時から活動を開始し、自然と共にゆっくりと！環境問題について楽しみながら考えよう私たちの大切な自然環境をみんなで守っていきたい。次世代に、より良い環境を残すための子どもの森の活動も10年を越えました。行政や企業、自然環境に無関心な人たちを責めるのではなく、自分たちで実現可能なことを進めて行くことが、今自分たちにできる最良の方法だと確信してのNPO法人の設立でした。設立当初は、活動を進めるに必要な資金調達も上手く行かず、森の学舎が活動拠点となるまでの5年間までは大変苦しい時期が続きました。そんな中でも、自然環境問題に取り組む活動を進め、各種助成金による資金調達も上手く行くようになり、森づくり、環境学習、中間支援等を、背丈に合った活動を通して実現できるようになりました。

昨年度は、法人設立10周年を迎えたことを記念して、今までにお世話になった地域や人たちへのお礼も含めた行事であるエコフェスタと森のコンサートを実施することができました。エコフェスタには、宮崎県北で環境問題に取り組んでいる9団体がブース出展してくれました。森のコンサートは、通常プロモーションされない中山間地域開催により、日頃出かけていくことのない自然豊富な中山間地域に足を運んでもらい、森の学舎周辺の自然に身をおいて、エアコンや扇風機もなく虫の声を聴きながらのジャスライブで、自然を身近なものに感じてもらえるようなコンサートにしました。

パン作りを通して食と環境を考える体験学習で、自然体験や農業体験から自然の大切さを学びために、四季を通した自然体験や農業体験から自然の大切さを理解してもらい将来の自然環境の守り手に育ってもらえるような環境教室である四季をまるごと体験e c o スクールは、準備活動年を含めて4年が過ぎ、今年は四期生を迎えて開催することになります。

門川高校生と一緒に取り組んできた森づくりも、下草刈りの必要がないほど苗木も大きくなりました。子どもの森1号地も、同じように苗木が大きくなっています。現在の森づくりは、手入れがされていない竹林の一部を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図る放置竹林の整備を主体となっています。

これからも、次の10年、また10年と活動を続けて行きたいと思っています。そのためにも、同じ想いを持つ仲間を増やし活動を分担して持続可能なNPO体制を構築していく必要があります。会員についても、新たに入会したり事情によって退会があったりしながらも、少しずつ増やしていく必要があります。また、子どもの森の活動を持続させることためには、それぞれの会員が考えている環境問題の解決を自らの手で実現させ満足感、達成感を得ることも大切なことだと思います。

報告事項Ⅰ．平成25年度活動経過報告

1. 事業の成果

- 5 ①環境プログラム（川をたのしく親しもう）を実施することで里山等の自然体験交流と自然環境を理解してもらうための啓発活動ができた。
- ②環境文庫（森の学舎）にて、森の学舎の常時活用と環境問題全般を学習できる場を提供することができた。
- 10 ③平成18年度から引き続き森林の再生活動（門川高等学校演習林）と平成21年度から始めた竹林の整備の実施にて、森林環境の保全活動ができた。
- ④県北地域の親子が、11カ月間を通して自然環境を考える体験型環境学習（四季をまるごと体験e c oスクール）で、より深く多面的に自然環境を理解してもらう啓発活動ができた。
- ⑤協働創出市（協働商談会事業）を企画開催することで、地域の行政や企業とN P O等の協働を推進することができた。
- 15 ⑥W e b ページと広報紙の発行により、活動の情報発信と環境問題の啓発活動ができた。

2. 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

（1）農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

20 ①椎茸ホダ木の管理（ほだ場作業）

- ・実施日：10月12日
- ・実施場所：森の学舎（門川町大字川内字イカダ場 3412-1※以降省略）
- ・参加者：2人

25 平成23年度の「森林環境セミナー」で、コマ打ちして森の学舎のほだ場に本伏せにしていたホダ木から椎茸の収穫が始まる時季になったので、ホダ木お越し作業を実施した。10月以降は、森の学舎で何らかの活動があるたびに椎茸の収穫ができた。

30 ②川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

- ・実施日：7月28日
- ・実施場所：森の学舎と五十鈴川
- ・参加者：8家族22人（内子供10人）
- ・スタッフ：7人
- ・協力：宮崎県ネイチャーゲーム協会（4人）
- 35 ・後援：宮崎県教育委員会
- ・助成等：子どもゆめ基金

40 親子を対象に、ネイチャーゲームで自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であることを学び、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学んだ。この体験を通して豊かな森と水を含め環境を守るために参加者が自分で出来ることを見つけるためのきっかけづくりができた。

（2）中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

45 ①水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生事業

- ・実施日：6月15日
- ・実施場所：門川高校演習林（門川町大字川内字中山 1102-1）/GOCAN（五感）の森
- ・参加者：23人（門川高校生19人、先生1人、子どもの森3人）
- ・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業

台風で植林されていた杉が流された門川高等学校演習林の自然環境の復元を図るために、平成18年度に門川高校生と協働して広葉樹を植樹したフィールドのメンテナンスとして、下草刈りをおこなった。

5 ②放置竹林の広葉樹林への復元活動

・実施日：4月21日、28日、5月26日、6月8日、11月2日、12月8日
平成26年1月12日、13日、19日、25日、26日、2月22日
3月22日 計13回

- 10 15 20
- ・実施場所：森の学舎裏の竹林（門川町大字川内字イカダ場 3400-7）/妖精の森
 - ・参加者：延べ68人
 - ・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業、緑の募金特定公募事業

手入れがされず放置されている竹林を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るために、平成21年度から継続して竹の伐採を続けている。

伐採した竹林の面積は約0.05haで、107本の孟宗竹を伐採した。伐採竹で棚を3カ所作り、棚に倒竹や竹笹部分等を積んだ。また、平成21年度に伐採して粉砕機で粉砕できない太い根本部分をグラウンドの端に積んでいたが、昨年度にすべて焼却処分をした。その他に、フィールドに登るための作業階段の設置と、下記の様に伐採した竹の有効活用もおこなった。

- 25
- 1) 四季をまるごと体験e c oスクールでの竹イカダ
 - 2) 粉砕機でチップにして、堆肥作りを兼ねて森の学舎グラウンドの一部に散布
 - 3) エコフェスタとふれあいの里（松瀬地区農産物直売所）で販売するチップとパウダー作り

5月26日は、UMK「ゲンキTV」の撮影があり、松瀬地区の方々と一般参加者も含め25年度の放置竹林の広葉樹林への復元活動で最多となる21人の参加があった。

30 (3) 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

①四季をまるごと体験e c oスクール

・実施日：5月18日、5月25日、6月29日、7月20日、8月24日、9月21日、
10月26日、11月16日、平成26年1月18日、2月15日、
3月1日、2日 計12日間

- 35
- ・実施場所：森の学舎
 - ・参加者：25人（子供13人）、スタッフ：延べ6人
 - ・助成等：子どもゆめ基金

40 地域の小学生とその保護者に対して、四季を通じた自然体験や農業体験から自然の大切さを理解し、将来の自然環境の守り手に育てもらうために、11カ月の期間を通して、同じ参加者で、スクール形式により下記のことを実施した。

- 45 50
- 1) ネイチャーゲーム（フェニック宮崎ネイチャーゲームの会）
 - 2) 麦刈り・脱穀
 - 3) ダンボールコンポストによる堆肥づくり（宮崎ダンボールコンポスト門川支部）
 - 4) 昆虫観察（新開孝さん）
 - 5) 竹イカダを作り川下りによる河川清掃
 - 6) 海での海水汲みと海岸清掃
 - 7) 塩づくり
 - 8) 麦畑づくり、麦種蒔き

- 9) 環境学習（樹木の二酸化炭素吸収量測定、持てるかな？～エネルギーのかばん～）
- 10) イチゴの収穫（松田農園）とイチゴ酵母づくり
- 11) 乳牛牧場（矢北牧場）での酪農体験とバターづくり
- 12) 石臼による小麦挽き
- 13) パンづくり
- 14) 文集制作

スタッフの準備活動として、各回に実施する内容の準備や後片付け等を下記の通り行った。

- 5月19日：年間の打ち合わせと麦刈り脱穀
- 6月1日：イカダ試作と麦脱穀
- 7月13日：竹イカダ試乗とイカダ降場の草刈り
- 8月17日：清掃する海岸の確認と塩づくり
- 10月20日：麦畑作業の前準備と環境学習の予行練習
- 11月10日：麦畑看板づくり
- 12月21日：パンづくり

（４）市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

①第4回協働創出市

- ・実施日：平成26年3月12日
- ・実施場所：クリエイティブセンター門川
- ・参加団体：42団体（NPO・ボランティア団体25、行政4、労働団体1、企業6、他団体6）88人
- ・助成等：宮崎県生活・協働・男女参画課の委託事業

県北地区において、行政とNPO等、労働団体とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、多様な団体等とを結び付け新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催をした。また、事業の一部としてWebページの管理運営も行った。

②エコフェスタと森のコンサート

- ・実施日：9月15日
- ・実施場所：森の学舎
- ・エコフェスタ参加団体：地域をわくわく元気にする会プロシード
ボーイスカウト延岡第4団
延岡チェンソーアートレンジャー部隊
宮崎市の河野さん
つぶつぶ雑穀料理とスイーツを楽しむ あいのき
宮崎ダンボールコンポストネットワーク門川支部
昆虫写真家新開さん
ふれあいの里
宮崎県シェアリングネイチャー協会
- ・エコフェスタ来場者数：約100人
- ・森のコンサート演奏者：Piano 菊池太光、Bass 織原良次、Drum 菅原高志
- ・コンサート来場者：約30人
- ・スタッフ：7人
- ・助成等：門川町まちづくりプレイヤー支援事業

次世代により良い環境を残すための子どもの森の活動も10年を越えたことを記念し、子どもの森の活動へ賛同協力していただいた方々への感謝の気持ちもあり、設立10周年

事業として実施した。来場された方々に、県北でエコな活動に取り組んでいる団体や個人の活動紹介を通して、身近なところからエコな取り組みが実践できることを知ってもらうことを目的として、『自然と共にゆくりと！環境問題について楽しみながら考えましょう！私たちの大切な自然環境をみんなで守っていききたい。』をテーマに、人と森のつながりを多くの人に楽しんで欲しいという想いでエコフェスタと森のコンサートを開催した。

(5) 活動の情報発信・啓発のための事業

①Webサイトの運営

・実施時期：4月～平成26年3月

10 子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月4.5回のWebページ更新にて情報発信をした。1日平均6.2件のWebページ（トップページ）の閲覧があった。

②機関紙の発行

・発行月：6月

15 子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信10号」をA4サイズ12ページで発行をして情報発信ができた。機関紙は、正会員・賛助会員・行政機関・活動助成元等と、子どもの森の活動の関係者へ配布した。また、Webページからもダウンロードできるようにした。

③事業案内チラシの作成

・実施時期：各事業の開催1カ月～2カ月前

20 宮崎県や宮崎県教育委員会等の後援をもらい、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成した。主に県北の図書館や近隣のスーパー等においてもらった。また、Webページからもダウンロードできるようにした。

④エコプロダクツ2013へのブース出展

・実施日：12月13日～15日

・実施場所：東京ビックサイト

30 子どもの森の活動を全国に発信するために、エコプロダクツ2013にブース出展した。クイズに挑戦してプレゼントしている「色えんぴつ」が好評、ブース訪問者にドングリ・木の実クイズに挑戦してもらった。他の出展しているブースにも見学に行ったりと見聞を広げることができた。

35 森の妖精のキット注文、ドングリ工作の提供などの問い合わせもあった。最終日には、子どもの森通信がなくなり、クイズの景品の色えんぴつも底をつき、急遽ラミネートした落ち葉をプレゼント用に準備して配布をした。エコプロダクツ2013への来場者数は3日間で169,076名とエコプロダクツ事務局から発表があった。

(6) その他目的を達成するために必要な事業

①森の学舎の有効活用としての施設開放

1) 門川町教育振興研修会によるネイチャーゲームと釜戸を使っての豚汁作りの体験（12月9日）

②森の学舎の環境整備

・花壇の改修

・足踏み脱穀機の復元作業

・造林鎌と手鎌、鋸の壁掛

・渡り棟教室側のデットスペースに飾り棚を設置

・管理棟に整理棚を設置

50 ・教室棟と管理棟を靴を履かずに移動できる竹の渡り板

- ・写真等パネル展示用イーゼル制作
- ・管理棟トイレ入り口をアルミサッシから木製の出入口戸に交換
- ・グラウンドの草刈
- ・石臼の5セットの目立て

5

③シニア・団塊世代応援フェア in 延岡（11月13日）

シニア・団塊世代の豊富な知識や経験を生かして多様な分野で社会参加することにより、シニア・団塊世代の方のいきがい・健康づくりはもとより、地域・社会全体の活性化を図るための催しである。団塊世代でいきいきと活躍されている俳優の阿藤快氏が参加したパネルディスカッションで、横山理事がパネラーとして参加した。

10

主 催：宮崎県長寿介護課・宮崎県社会福祉協議会

会 場：キャトルセゾン・マツイ

参加者：横山純子理事、他会員1名

15

④黄色いレシートキャンペーン（8月11日）

8年間にわたり支援を受けているイオン黄色いレシート・キャンペーンの日において、イオングループ2店舗で黄色いレシート・キャンペーンの普及協力と子どもの森のPRを実施した。

20

店 舗：イオン日向店

参加者：横山純子理事、他会員1名



25 3. 寄付金・助成金等

(1) 森林づくり活動支援事業（宮崎県森林環境税）

放置竹林の広葉樹林への復元活動（森の学舎裏山の竹林伐採）の事業費167千円に対して、125千円の助成を受けました。

30

(2) 高校生との森づくり（宮崎県森林環境税）

水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生事業（高校生とのGOCANの森の除草刈り）の事業費64千円に対して、64千円の助成を受けました。

35 (3) 3期緑の募金特定公募事業（国土緑化推進機構）

放置竹林の広葉樹林への復元活動で、妖精の森の伐採した竹を、前年度から継続して樹木粉碎機を使ってチップにしました。平成25年7月から平成26年6月までが、緑の募金特定公募事業の事業期間であり、その後、森林づくり活動支援事業に引き継いでいきました。事業費468千円に対しての助成額は、458千円（内82千円は前年度計上）で

した。

(4) 子どもゆめ基金（国立青少年教育振興機構）

- 5 ①四季をまるごと体験ecoスクール（第3期）開催の事業費734千円に対して、574千円の助成を受ける予定です。
②川をたのしく親しもう開催の事業費150千円に対しての助成額は、128千円でした。

(5) まちづくりプレイヤー支援（門川町）

- 10 子どもの森設立10周年記念行事であるエコフェスタと森のコンサートの開催に掛かった費用364千円に対しての助成額は、171千円でした。

(6) 協働商談会開催事業委託費（宮崎県生活・協働・男女参画課）

- 15 552千円の委託費を受けて、宮崎県北の行政や企業とNPOとの協働事業を推進するためのマッチング事業である協働商談会（第4回協働創出市）を実施しました。

(7) イオン黄色いレシートキャンペーン

- 20 黄色いレシートキャンペーンの投函箱を、ホームワイド出北店・マックスバリュー南延岡店/岡富店・ホームワイド財光寺店・イオンロックタウン日向店に設置しています。投函されたレシート金額の1%が団体に商品券で寄贈されます。平成25年度は、102千円の商品券が寄贈されました。商品券については、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。

昨年度は、イオンロックタウン日向店において、横山理事他会員1名で、黄色いレシートキャンペーンに参加しました。

25 (8) ろうきんNPO寄付

預金者が応援したいNPO法人へ、希望する金額を、希望する日に、預金者に代わって普通預金口座から寄付先団体の口座に自動振替する制度です。1回の寄付額は100円以上（100円単位）です。平成25年度は、12件7千円の寄付がありました。

30 (9) プルデンシャル生命保険（株）

森づくりフォーラムよりプルデンシャル生命保険（株）が行う「e-約款」等の2012年度実績に基づく寄付金の寄付先団体として推薦していただき、45千円の寄付をいただきました。この寄付金は、エコプロダクツ2013の参加にかかる費用としました。

35 (10) 事業収入と一般寄付

四季をまるごと体験ecoスクールと川をたのしく親しもうの参加費・森の学舎開放での収入・横山謙一理事長他からの一般寄付等で、総額349千円がありました。この事業収入と一般寄付は、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。



4. その他

(1) 協働創出市について

5 それぞれの団体単独では、その想いを形にすることの難しさを、子どもの森の活動を通して感じていました。一方、企業や他の団体と協働し活動した時には、容易に形になっていく実感がありました。同じ想いを持つもの同士が一緒になって活動や事業を進めて行くことが、地域の問題解決にとって有効な手段であり、宮崎県の委託事業である「協働商談会開催事業」が、子どもの森の感じている協働を地域に広げることができる事業であることから、子どもの森で宮崎県生活・協働・男女参画課と協働して「協働商談会」を開催しました。

10 宮崎県生活・協働・男女参画課の協働商談会委託事業として、4回目の開催となった協働創出市の事業は、昨年引き続き有償ボランティアをお願いして事業展開を進めていきました。この事業は、県内で他の地域3箇所（県央・県南・県西）でも開催されています。

15 子どもの森では、多種多様な団体（NPO・地縁組織・企業・教育機関・行政等）が協働して活動することが、地域の問題を解決ができる有効な手段であることを丁寧な団体訪問により説明して協働創出市で協働できるパートナー探しをするために参加をお願いしてきました。そして、協働に理解と意義を感じてくれる団体の参加が、目標としていた40団体を越えた42団体（88人）が参加してくれました。

20 協働創出市参加団体

特定非営利活動法人子どもの森、宮崎県生活・協働・男女参画課、県北植物愛好会、コンテナガーデン彩、宮崎県社会福祉協議会長寿社会推進センター、特定非営利活動法人五ヶ瀬川流域ネットワーク、宮崎県難病相談・支援センター、NPO 法人黄砂防止機構、特定非営利活動法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター、宮崎県社会福祉協議会宮崎県ボランティアセンター、門川町役場総務課企画&企画財政課、魅力のまち発掘プロジェクトすこっぷ、特定非営利活動法人日向渚を守る会、株式会社アレーテライフイノベーション、株式会社新旭サービス、延岡チェーンソーアートレンジャー部隊、特定非営利活動法人ささゆり、連合宮崎、NPO 法人のべおか健寿ささえ愛隊、全労済宮崎県本部延岡支所、宮崎ダンボールコンポスト県北支部、特定非営利活動法人のべおかスポーツクラブ、NPO 法人オーガニック宮崎、みやざき森づくりコミッション、のびのびフリースペース&わえん、株式会社マルイチ、NPO 法人学校支援のべおかはげまし隊、特定非営利活動法人川南町地域活動支援センター、日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会「さんぴあ」、株式会社カイホウ、エフエムひゅうが、NPO 法人福祉支援協会ライフサークル、宮崎県シェアリングネイチャー協会、フェニックス宮崎シェアリングネイチャーの会、就労継続支援事業所B型キャッチボール、社会福祉法人門川町社会福祉協議会、延岡市経営政策課市民協働係、日向市市民協働課、特定非営利活動法人リバーシブル日向、日本宇宙少年団延岡分団、門川町観光協会、延岡ひかりの会

(2) 第6回森林環境セミナー（森づくりボランティア養成）

40 昨年度から年度をまたいでの事業です。昨年度3月に実施する予定であった知識習得編は、事務局の引っ越しの関係で、今年度の4月6日に開催しました。昨年度には、助成金収入計上をしていませんので、今年度の計上となります。実作業体験篇は今年度実施となりますので、今年度の活動方針（案）に盛り込んでいます。

(3) 春を楽しもうの未開催

45 今年度4月に予定していた山菜野草を観察し収穫して料理して食べることで、自然環境の恩恵を感じる活動である春を楽しもうは、事務局引っ越しで日程の調整ができず開催できませんでした。

(4) 「わたしのふる里宮崎」との協働

50 「わたしのふる里宮崎」（矢野宗一代表）が販売した「癒しの森（森のフィギア）」の利

益の一部を森づくり団体へ寄付することに賛同し、寄付する団体の選定事務を子どもの森が請け負うとの趣旨で、同企業と協働して行くことになっていましたが、同企業の販売ルートの確立が不確定であり、昨年度は特段の関わりを持つことができませんでした。経営方針のブレも垣間見えることから、今年度は、同企業とはやや距離を置かなければならないと考え積極的な協働はできないと思われます。

(5) 森づくりボランティア協議会

横山理事長が理事として就任している森づくりボランティア協議会主催の下記の活動に参加協力をしました。

①総会

串間市のキャンプ権代（環の会）で開催された総会に、横山理事長、横山理事他会員1名で参加しました。南那珂森林組合の管理するさくらの森で現地研修と講演会（島田俊光森林組合長）も同時開催されました。

②森づくり講演会

多摩川の源流となる支流のほとんどを歩き調べ、森林の大切さ、川の大事さの啓発活動をすすめている中村文明さん（多摩川源流研究所所長、NPO 法人全国源流ネットワーク代表）の多摩川源流についての講演会に、スタッフとして、横山理事長と横山理事が参加しました。

(6) 新聞報道等で、子どもの森の活動紹介が、下表の様にありました。

わいWaiTV	四季をまるごと体験ecoスクール（開校）	5月21日放送
	四季をまるごと体験ecoスクール（昆虫観察）	7月2日放送
	エコフェスタ	9月19日放送
	第4回協働創出市	平成26年3月14日放送
テレビ宮崎	妖精の森（竹林の整備） 「みやざきゲンキTVしっとこみやざき」	6月23日放送
MRTラジオ	四季をまるごと体験ecoスクール（麦刈り） 「エ・コ・コロカフェ」	6月16日放送
宮日新聞	イベントを通じ自然を楽しむ （エコフェスタ）	9月17日掲載
夕刊デイリー	相手を探し、協働創出市活用を （第4回協働創出市）	平成26年2月7日掲載



平成25年度事業経過一覧

月	実施日	活動名	場所	備考/内容
4	11(木)	会計監査	事務局	
	21(日)	竹林整備	妖精の森	作業階段設置
	23(火)	理事会	事務局	
	27(土)	森の学舎の施設整備	森の学舎	花壇改修
	28(日)	竹林整備	妖精の森	竹粉碎、タケノコ除去
5	4/30(火)、1(水) 2(木)、3(祝) 4(土)、5(日)	森の学舎の施設整備	森の学舎	足ふむ脱穀機修理、腰掛椅子ペンキ塗り 道具掛け設置、飾り棚設置など
	6(振)	総会	森の学舎	総会終了後にお楽しみ昼食会
	18(土)	ecoスクール	森の学舎	開校、ネイチャーゲーム、段ボールコンポスト
	19(日)	ecoスクール準備	森の学舎	打ち合わせ、麦刈りと脱穀の予行練習
	22(水)	理事会	事務局	
	25(土)	ecoスクール	森の学舎	麦刈り、脱穀
	26(日)	竹林整備	妖精の森	竹伐採(UMK撮影)
6	1(土)	ecoスクール準備	森の学舎	竹イカダ試作、麦脱穀の後処理
	4(火)	まちづくりプレイヤー支援事業審査会	門川町役場	横山理事長、麻田理事
	15(土)	高校生との森づくり	GOCANの森	下草刈り
	16(日)	みやざき森づくりボランティア協議会総会	環の会(串間市)	横山理事長、横山理事、他会員1名
	23(日)	森の学舎の施設整備	森の学舎と五十鈴川	草刈り
	29(土)	ecoスクール	森の学舎	竹イカダづくり、昆虫観察
	30(日)	下草刈り	妖精の森	地区と合同
	7	12(金)	理事会	事務局
13(土)	ecoスクール準備	森の学舎と五十鈴川	竹イカダによる河川清掃下見	
20(土)	ecoスクール	森の学舎と五十鈴川	竹イカダの河川清掃	
21(日)	川をたのしく親しもう準備	森の学舎と五十鈴川	川あそびと川の生き物調査の予行練習、そうめん流し準備	
28(日)	川をたのしく親しもう	森の学舎と五十鈴川	ネイチャーゲーム、川あそび、川の生き物調査、そうめん流し	
8	11(日)	子どもの森PR活動	イオン日向店	横山理事、他会員1名
	17(土)	ecoスクール準備	森の学舎、細島の浜辺	塩づくり予行練習、浜辺の清掃下見
	23(金)	理事会	事務局	
	24(土)	ecoスクール	日向灘 日向岬黒田の家臣の海岸	海水汲み、浜辺の清掃
9	7(土)、8(日)	エコフェスタ準備	森の学舎	竹伐採粉碎、グランド草刈り、他
	15(日)	エコフェスタ2013&森のコンサート	森の学舎	10周年記念行事
	21(土)	ecoスクール	森の学舎	塩づくり
	29(日)	竹林整備	妖精の森	雨天中止
10	6(日)	みんなの森づくり講演会	宮崎県立図書館	みやざき森づくりボランティア協議会主催 横山理事長・横山理事が参加
	12(土)	ほだ木起こし	森の学舎ほだ場	
	20(日)	ecoスクール準備	森の学舎麦畑・グランド	麦畑の整備、環境学習予行練習
	26(土)	ecoスクール	森の学舎麦畑・グランド	麦畑づくり、環境学習
11	2(土)	竹林の整備	妖精の森	竹伐、粉碎竹
	10(日)	ecoスクール準備	森の学舎麦畑	麦畑の整備、看板づくり
	13(水)	シニア・団塊世代応援フェアin延岡	キャトルセゾン・マツイ	主催：県社会福祉協議会 横山知事がトークショー参加
	16(土)	ecoスクール	森の学舎麦畑	麦畑づくり、麦まき
	19(火)	協働商談会実施ヒアリング	宮崎県庁	横山理事、他1名
12	8(日)	竹林整備	妖精の森	竹伐採、竹柵作り
	12(木)~14(土)	エコプロダクツ2013	東京ビックサイト	横山理事、他1名
	21(土)	ecoスクール準備	森の学舎	パン焼き予行練習
1	18(土)	ecoスクール	矢北牧場、森の学舎	牧場での酪農体験、小麦づくり
	25(土)、26(日)	竹林整備	妖精の森	竹伐採、竹粉碎、竹柵づくり
2	13(木)	理事会	事務局	
	15(土)	ecoスクール	森の学舎	イチゴ狩り、酵母づくり、小麦づくり
	22(土)	竹林整備	妖精の森	竹伐採
3	1(土)、2(日)	ecoスクール(1日、2日)	森の学舎	バターづくり、パン生地づくり、パン形成、パン焼き、文集作成、閉校
	12(水)	協働創出市	クリエイティブセンター門川	
	22(土)	竹林整備	妖精の森	竹伐採、竹粉碎

報告事項Ⅱ. 平成25年度活動決算報告

平成25年度 特定非営利活動に係る活動計算書
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科目	金額		備考		
I 経常収益					
1. 受取会費					
正会員受取会費	56,000	71,000	正会員:11人×5,000、特別会員:1人×1,000、前年度未納分:5,000 3人×5,000		
賛助会員受取会費	15,000				
2. 受取寄付金		1,046,851	イオン黄色いシート、ろうきんNPO寄附金、森づくりフォーラム、個人寄付4件 他 宮崎県の最低賃金にて評価		
受取寄付金	237,926				
ボランティア受入評価益	808,925				
3. 受取助成金等		1,439,799	子どもゆめ基金:702千、緑の募金:376千、森林づくり活動:125千、門川町まちづくりプレイヤー:171千		
受取助成金					
4. 事業収益		819,520	各プログラム参加費、森の学舎使用料 協働創出市		
自主事業収益	267,520				
委託事業収益	552,000				
5. その他収益		3,583	損害保険返戻、預金利息		
雑収入					
経常収益計			3,380,753		
II 経常費用					
1. 事業費					
(1)人件費					
給料手当	388,984	1,107,498	協働創出市、ecoスクール、妖精の森、川をたのしく、GOCANの森 ecoスクール、協働創出市、川をたのしく、森で過ごそう 宮崎県の最低賃金にて評価		
臨時雇賃金	180,010				
ボランティア評価費用	538,504				
人件費計					
(2)その他経費					
修繕費	11,200	3,043,155	造林鎌・草刈刃の砥ぎ ecoスクール、川をたのしく、妖精の森、エコフェスタ、協働創出市 ecoスクールチラシ印刷(業者)、他事業はトナー代 エコフェスタと協働創出市の新聞広告他 妖精の森のWeb更新 ecoスクール、川をたのしく、協働創出市、妖精の森、エコプロダクツ ecoスクール、川をたのしく、協働創出市、妖精の森、GOCANの森、エコフェスタ、エコプロダクツ ecoスクール 他事業すべて 協働創出市での会場代 ecoスクール、川をたのしく、妖精の森 印紙 エコフェスタ・協働創出市の助成対象外経費、エコプロダクツ		
諸謝金	394,700				
印刷製本費	385,940				
広告宣伝費	57,750				
Webページ運営費	39,000				
旅費交通費	203,710				
通信運搬費	92,480				
消耗品費	616,489				
会議費	29,900				
損害保険料	49,140				
租税公課	2,800				
雑費	52,548				
その他経費計	1,935,657				
事業費計					
2. 管理費					
(1)人件費					
給料手当	0	270,421	宮崎県の最低賃金にて評価		
臨時雇賃金	0				
ボランティア評価費用	270,421				
人件費計					
(2)その他経費					
修繕費	31,371	875,382	プリンター保守料、脱穀機部品 レンタルサーバー(H25.4~H28.3) 物品購入、森づくりボランティア協議会の総会出席 助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯 文房具、お茶代 他 みやざき森づくりボランティア協議会 総会 印紙、印鑑証明 他 森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代)、森の学舎スペアキー 他 葉書を切手に交換手数料 チッパーシュレッダー2台、耕うん機、簡易炭窯		
印刷製本費	0				
Webページ運営費	9,600				
旅費交通費	11,440				
通信運搬費	39,817				
消耗品費	32,987				
諸会費	3,000				
会議費	3,500				
損害保険料	0				
租税公課	2,300				
施設管理費	155,667				
雑費	360				
減価償却費	314,919				
その他経費計	604,961				
管理費計					
経常費用計			3,918,537		
当期正味財産増減額			-537,784		
前期繰越正味財産額			2,883,763		
次期繰越正味財産額			2,345,979		

平成25年度事業別活動計算書

科目	四季をまるごと体験eco スクール	川をたのしく親しもう	GOOAND森 (高校生との森めぐり)	妖精の森 (竹林の整備) H24.7~H25.6	妖精の森 (竹林の整備) H25.7~H26.3	森林環境セミナー	協働創出市	森の学舎整備	エコフェスタ	エコプロダクト	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益													
1. 受取会費													
正会員受取会費												56,000	56,000
賛助会員受取会費												15,000	15,000
2. 受取寄付金													0
受取寄付金	50,464	9,296	3,984	69,720	47,144	1,992	69,056	141,432	72,376	73,040	538,504	270,421	237,926
3. 受取助成金等													0
ポランティア受入評価益	574,659	128,000	64,863	376,277	125,000	0			171,000		1,439,799		1,439,799
受取助成金													0
4. 事業収益													0
自主事業収益	160,000	14,800	0	0	0	0			88,030	0	262,830	4,690	267,520
委託事業収益							552,000				552,000		552,000
5. その他収益													0
雑収入												3,583	3,583
経常収益計	785,123	152,096	68,847	445,997	172,144	1,992	621,056	141,432	331,406	73,040	2,793,133	587,620	3,380,753
II 経常費用													
(1) 人件費													
給料手当	60,000	9,000	10,000	14,700	0	0	295,284	0	0	0	388,984	0	388,984
臨時雇賃金	117,000	24,000	5,000	0	0	0	34,010	0	0	0	180,010	0	180,010
ポランティア評価費用	50,464	9,296	3,984	69,720	47,144	1,992	69,056	141,432	72,376	73,040	538,504	270,421	808,925
人件費計	227,464	42,296	18,984	84,420	47,144	1,992	398,350	141,432	72,376	73,040	1,107,498	270,421	1,377,919
(2) その他経費													
修繕費													42,571
諸謝金	122,700	59,000	0	10,000	0	0	3,000	0	200,000	0	394,700	0	394,700
印刷製本費	143,850	25,200	0	89,250	49,350	0	51,850	0	26,440	0	385,940	0	385,940
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	26,250	0	31,500	0	57,750	0	57,750
Webページ運営費	0	0	0	24,000	15,000	0	0	0	0	0	39,000	9,600	48,600
旅費交通費	121,200	7,650	0	3,000	1,300	0	45,300	0	0	25,260	203,710	11,440	215,150
通信運搬費	2,985	1,030	42,000	840	840	0	34,540	0	630	9,615	92,480	39,817	132,297
消耗品費	128,982	24,050	17,045	223,672	100,594	1,926	21,144	708	92,531	5,837	616,489	32,987	649,476
諸会費												3,000	3,000
会議費	0	0	0	0	0	0	29,900	0	0	0	29,900	3,500	33,400
損害保険料	31,500	1,000	0	16,640	0	0	0	0	0	0	49,140	0	49,140
租税公課							200		2,600		2,800	2,300	5,100
施設管理費												155,667	155,667
雑費							1,500		11,050	39,998	52,548	360	52,908
減価償却費												314,919	314,919
その他経費計	551,217	117,930	59,045	378,602	167,084	1,926	213,684	708	364,751	80,710	1,935,657	604,961	2,540,618
経常費用計	778,681	160,226	78,029	463,022	214,228	3,918	612,034	142,140	437,127	153,750	3,043,155	875,382	3,918,537
当期経常増減額	6,442	△ 8,130	△ 9,182	△ 17,025	△ 42,084	△ 1,926	9,022	△ 708	△ 105,721	△ 80,710	△ 250,022	△ 287,762	△ 537,784

《参考》

平成25年度 特定非営利活動に係る活動計画書
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	72,000		正会員:14人×5,000、特別会員:2人×1,000
賛助会員受取会費	50,000	122,000	10人×5,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金		189,000	イオン黄色いレシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄付 他
3. 受取助成金等			
受取助成金		1,620,000	子どもゆめ基金:734千、緑の募金:528千、まちづくりプレイヤー:195千、森林づくり活動:104千 他
4. 事業収益			
自主事業収益	356,900		参加費、森の学舎使用料
委託事業収益	0	356,900	
5. その他収益			
雑収入		250	
経常収益計			2,288,150
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	215,700		ecoスクール、川をたのしく親しもう
臨時雇賃金	0		同上
人件費計	215,700		
(2)その他経費			
修繕費	80,000		チェーンソー点検修理、鉋・鎌の砥ぎ
諸謝金	530,000		ecoスクール、川をたのしく親しもう、森林環境セミナー、竹林の整備、ecoフェスタ
印刷製本費	400,100		ecoスクール散紙印刷(業者)、他事業はトナー代
広告宣伝費	10,500		森林環境セミナー
Webページ運営費	37,000		竹林の整備
旅費交通費	127,750		ecoスクール、川をたのしく親しもう、森林環境セミナー、竹林の整備、ecoフェスタ 他
通信運搬費	61,900		同上
消耗品費	505,100		同上
会議費	0		
損害保険料	60,760		竹林の整備、川をたのしく親しもう、ecoスクール
その他経費計	1,813,110		
事業費計		2,028,810	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	6,000		黄色いレシート・キャンペーン
臨時雇賃金	0		
人件費計	6,000		
(2)その他経費			
修繕費	77,090		プリンタ保守、プリンタ修理
印刷製本費	0		
Webページ運営費	9,600		レンタルサーバー(H25.4~H28.3)
旅費交通費	14,330		物品購入、黄色いレシートキャンペーン、各種会議
通信運搬費	34,723		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	9,438		文房具 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	10,000		総会、理事会、10周年記念
研修費	10,000		みやざき森づくりボランティア協議会
損害保険料	0		
租税公課	1,000		印紙
施設管理費	185,000		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代)
雑費	6,695		雑草発送費 他
減価償却費	314,919		チャパーシュレッダー2台、耕うん機、簡易炭窯
その他経費計	675,795		
管理費計		681,795	
経常費用計			2,710,605
当期正味財産増減額			-422,455
前期繰越正味財産額			2,883,763
次期繰越正味財産額			2,461,308
			森の学舎修繕費目的積立¥1,000,000含む

平成25年度 特定非営利活動に係る貸借対照表（平成26年3月31日現在）

特定非営利活動法人 子どもの森

科目		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金		7,020	
普通預金		1,642,127	
未収金		211,659	
前払金		2,700	
流動資産合計			1,863,506
2 固定資産			
備品	2,085,000		
減価償却累計額	△1,592,527	492,473	
固定資産合計			492,473
資産合計			2,355,979
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金		10,000	
流動負債合計			10,000
負債合計			10,000
III 正味財産の部			
基本金		2,883,763	
当期正味財産増加額(減少額)		△537,784	
正味財産合計			2,345,979
負債及び正味財産合計			2,355,979

平成25年度 特定非営利活動に係る財産目録
(平成26年3月31日現在)

5

特定非営利活動法人 子どもの森

科目		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手元有高	7,020	
普通預金	宮崎太陽銀行門川支店	1,062,891	
普通預金	九州ろうきん延岡支店	579,236	
未収金	子どもゆめ基金	211,659	
前払金	源泉所得税年末調整超過額	2,700	
流動資産合計			1,863,506
2 固定資産			
機械及び装置	チャパ-シュレッタ- (新ダ イワCSE50-W)	253,050	
	チャパ-シュレッタ- (大橋GS121GB)	1,330,350	
	耕うん機 (HONDAヒ-アタ)	102,600	
	簡易炭窯 (テキT105型)	399,000	
減価償却累計額		△1,592,527	492,473
固定資産合計			492,473
資産合計			2,355,979
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	平成26年度会費 (2人)	10,000	
流動負債合計			10,000
負債合計			10,000
正味財産 (注)			2,345,979

報告事項Ⅲ. 監査報告

監査報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告します。

監査の結果

- この法人の会計の方法及びその結果は、相当であると認めます。
- 財産目録は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 貸借対照表は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 収支計算書は、法令及び定款に従い、この法人の状況を正しく示していると認めます。

平成26年4月12日

特定非営利活動法人 子どもの森

監事 黒木 伸光 

5



10

議案Ⅰ．平成26年度活動方針―(案)―

1. 農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

5 農林漁業は、食料など農海産物を生産するだけでなく、その生産活動を通じて、国土の保全、水資源の涵養（かんよう）、自然環境や美しい景観の形成、伝統文化や食文化の継承など、国民の暮らしや環境にとって欠かせない役割を果たしています。これらの役割を総称して、「多面的な役割」又は「多面的機能」と呼んでいます。

10 農林業の多面的な役割は、各国の自然条件や農林業生産の内容によっても異なりますが、日本の場合には中山間地域や水田の果たす役割が非常に大きいのが特徴です。

たとえば、中山間地域にある水田は、一般に河川の上流にあることから、大雨が降ったときに水量を調節するダム役割を果たし、下流の都市を洪水から守ります。また、棚田は美しい景観や生態系の保存にとって欠かせない役割をもっています。漁業は河川や海の自然環境が悪化したら敏感に影響を受ける産業です。

15 私たちの食料を生産する生活の根本的な産業である自然環境の中で培われている農林漁業や里山等の自然体験交流を通して、自然環境の大切さを知るための啓発的な活動を行います。

(1) 椎茸栽培

20 平成23年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」で椎茸ほだ木（椎茸の菌を接種したコナラ木）が40本あります。本伏せを「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」の参加者、会員や協力者へ案内をして、昨年5月に実施しています。同時に、平成22年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」での椎茸ほだ木（60本）のホダ起こしをしています。平成22年度の椎茸ほだ木は一昨年の秋から、平成23年度に菌接種した椎茸ほだ木は昨年の秋から収穫がはじまりました。今年度も、森の学舎での活動日に収穫をしていきたいと思

25

(2) 春の山菜・野草を楽しむ

森の学舎周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を探し収穫し料理をして春の自然を楽しみ自然の大切さを学び知ることを進めたいと思

30 ・開催日：平成27年4月5日

・参加数：30人

・場 所：森の学舎

2. 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

35

人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るため、杉と広葉樹の（針広）混交林（子どもの森1号地）と門川高校演習林災害後の再生（GOCANの森）、森の学舎裏山の竹林の整備（妖精の森）の森づくりを行なっています。今年度も引き続き、会員・一般参加者・門川高校生・森林ボランティア（森林サポーター）等に呼びかけ、継続した森づくり活動に取り組んでいきます。また、市町村に広報を依頼して参加者を募集すること、企業や各種団体に森林づくりへのボランティア参加をお願いして行きたいと思

40 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生として、森の学舎の所在地である松瀬地区に住んでいる方たちとの森の学舎を中心とした里山再生事業を展開する準備をしていきたいと思

45 イベント等を開催するのではなく、自然環境や里山景観を復元して、地区外から多くの人を訪ねてきて地区が活性化（元気になる）する先進的モデルとなるような事業を進めていきたいと思

(1) 子どもの森1号地

50 平成18年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要

がなくなっています。今年度も現状調査を実施して行きます。

(2) GOCANの森

5 門川高校生と協働して実施した森林の再生活動（平成19年3月に植樹、平成25年3月に補植樹）をした門川高校実習林の苗木が大きくなり下草刈の必要がなくなっています。今年度は現状調査のみを実施して行きます。

(3) 妖精の森

10 長期計画で森の学舎裏の放置されている竹林の一部を落葉樹の林に変えて行く活動の6年目となります。今年度も平成23年度から引き続き伐採した竹の一部を使って竹棚を作り、粉碎機でチップとパウダーを作ります。また、伐採した竹の活用としての竹炭も焼いていきます。竹チップ・竹パウダー・竹炭についても、ふれあいの里での試販売を続けていきます。

15 竹林は、森の学舎裏手にあたる場所で、一般参加者や企業と各種団体に参加を呼びかけ、年間に5回程度の活動日を設け、約0.05ha程度を奥行き約20m程度にある竹を伐採していきます。

(4) 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生

20 昨年度総会にて、地区に住んでいる方たちと一緒に、景観も含む中山間地の荒廃した里山の環境を保全するために、5年位の中期的な計画と10年先の長期的な計画を初年度である本年度に企画立案して行くことが確認されましたが、昨今の諸事情により企画立案ができませんでした。昨年度できなかった長期計画で里山の環境保全再生の企画立案を、今年度は進めたいと思います。概略としては下記のような活動が考えられると思われま

- 25 ① 森の学舎前に掛っていた吊りばし橋脚跡の活用として、フジ等の蔓で兩岸にある橋脚跡をつなげる。季節になれば吊り橋に花が咲くことになり季節で変化する景観をつくること
30 ② 北方からの森の学舎方面に左折する辺りから道から、ふれあいの里（地域の農作物直売場）までの道沿いのヤブを畑等にして里山の景観を復元する。
③ 松瀬大橋付近の孟宗竹やヤブを伐採し広葉樹の生い茂る河川敷に変え、ホタルの住まいを増やすことでホタルが多い里山に復元する。
④ 定期的な道端のゴミひろいをおこない常にゴミの無い里山景観を進める。
⑤ 地域の歴史的な出来事や遺跡を調べ整理して、中山間地区の歴史的価値を高める。
35 ⑥ 休耕作地を地区外の人に利用してもらい、里山景観保全と中山間地域の流動人口を増やす。
⑦ 北方からの森の学舎方面に左折する辺りの孟宗竹林を整備して、タケノコ狩りのできる場所にする。
⑧ 昔の簡易石橋の景観整備

40 森の学舎の裏山の竹林を雑木林に変える活動（竹林の整備）や、四季をまるごと体験e c o スクールでの休耕作地の麦畑利用もその一環に位置付けることができます。

3. 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

45 地球温暖化や荒れた森林、河川や海の汚染等の環境問題に関心を持ち考えてもらうために、森林・河川・里山等を活用した体験型啓発活動を開催します。広く参加者を募って、環境プログラム（体験型環境学習）に参加してもらい、『あなたのできること私のできること』をキーワードに、個人でも取り組める環境問題への活動に気付いてもらい、できるだけ良い自然環境を子どもたちに残していくことを、多くの人実践してもらうための基盤整備とすることを目的とします。

50

(1) ecoスクール（四期四季をまるごと体験ecoスクール）

パン作りによる食と環境を切り口に、自然環境を遊びや観察、農業等の原体験を通して、中山間地域である里山の自然環境の大切さと保全の必要性を学習する下記のプログラムを提供します。

5

① ネイチャーゲームで、身近な植物・生き物・森林について五感を通して自然の大切さを
知る。

② 竹でイカダを作り、竹のイカダで川を下りながら川の清掃をする。

③ 海水を釜戸で沸かして塩を作る。

10 ④ 昨年度に作った小麦畑から麦を収穫し、昔の道具で脱穀や脱ふんを行い、石臼で挽いて
小麦粉を作る。

⑤ ダンボール・コンポストを使って麦畑の堆肥を作る。

⑥ 収穫した小麦を麦種として畑に蒔く。麦畑で育った小麦は次年度のエコスクールで使用
する。

15 ⑦ パンの材料である天然酵母を身近な果物で作る。

⑧ パンの材料であるバターの作り方を近辺の乳牛農家で学び、酪農体験（生乳を搾り、牛
の世話等）を体験する。

⑨ 石臼で挽いた小麦粉・手作り塩・天然酵母・手作りバターを使い石釜でパンを焼く。

20 ⑩ 森の学舎周辺の畑で旬の野菜を収穫して参加者で料理をする。また、釜戸で羽釜炊飯を
体験する。

⑪ 昆虫観察を通して、人間が自然を壊すことなく多くの生物のいのちをみんなでつないで
いこうという想いをつける。

⑫ 加工食品や調味料にも目を向け、原料の生産地まで関心を持つことで、運ばれてくる時
に排出される二酸化炭素の量に気づき、これからの輸入食品との付き合い方を考える。

25 ⑬ 文集の制作。

・講師依頼：ネイチャーゲームは、宮崎県シェアリングネイチャー協会等よりネイチャーゲ
ーム・リーダーの派遣を依頼しています。

30 ダンボールコンポストは、宮崎ダンボールコンポスト県北支部に指導者の派
遣を依頼します。

昆虫観察は、昆虫写真家の新開孝さんに依頼します。

・開催月：5月～翌年3月（計11回）

・参加数：20人（県北地域の小学生4年生から6年生と保護者）

・場 所：森の学舎

35 ・助 成：子どもゆめ基金

(2) 川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

ネイチャーゲームで、自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し自然と自分が一体である、
川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然や里山等の大切さを体験を通して学びます。

40

① 「森の学舎」の前に流れている五十鈴川で魚や蝦捕りをして、川で暮らす生き物の名前
を覚える。生き物の名前を覚えることで、自然環境に興味と親しみがわき、自然環境の大
事さを感じることができる。

45 ② 川をたのしみ親しむために、ネイチャーゲームを川で実施する。川の自然と人間生活が
密接に関係していることを学習する。

※ネイチャーゲームは、宮崎県シェアリングネイチャー協会等よりネイチャーゲーム・リ
ーダーの派遣を依頼します。

・開催日：7月27日

50 ・参加数：25人（子ども15人と大人10人が目安）

- ・場 所：森の学舎と五十鈴川
- ・助 成：子どもゆめ基金

(3) 森林を活用した体験型啓発活動（森で過ごそう森に学ぼう）

5 樹木は、私たちの生活において排出された二酸化炭素を吸収し、私たちの生活に必要な酸素を供給してくれていること、子どもたちの健全育成に必要な資源を提供していることを、樹木の二酸化炭素吸収量学習、ドングリ苗木の育て方、ドングリを使った工作を通して、自然の豊かさを楽しみ自然の大切さを学びます。また、森林が水を含む良質な環境の源であることを理解し、山に植樹するための苗木を自宅でドングリから育てます。参加者が育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させるプログラムです。

- 15 ① 1本の木の二酸化炭素吸収量と人間一人の呼吸で吐き出す二酸化炭素の量や家庭で使う電気量から発生する二酸化炭素の量との比較をして、樹木が二酸化炭素を吸収してくれる大事な存在であることを学ぶ。
- ② 竹を玉きりにして節を利用したポットに、腐葉土を入れてドングリを植える。竹のポットは、参加者が自宅で苗木に育て、2年後に山へ戻す。
- ③ 小枝や葉っぱ、ドングリ等の自然素材で、参加者がオリジナルのクラフト作品を作る。自然にある物で十分に遊ぶことができることで、自然への愛着を促す。

- 20 ・開催日：11月30日
- ・参加数：20人（子ども8人と大人7人、幼児5人が目安）
- ・場 所：森の学舎
- ・助 成：子どもゆめ基金



25 4. 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

30 地域の課題に対して何かの役に立ちたいと思い、地域活動に参画する意向のある人は増えてきています。そうした動きに対して行政も、地域の活性化、雇用の確保、行政サービスの補完等の観点で関心を持っています。しかし、意欲のある人や団体でも、具体的な始め方、仲間や協力者の見つけ方、必要な知識やスキルの身に付け方等、いくつかのハードルの存在が想定されます。従って、それらを克服し、参加意欲を実際の行動に結び付けていけるような支援の仕組みを地域に構築することの必要性があります。

35 (1) 協働商談会事業

県北地区において、行政とNPO等とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、行政や企業とNPO等とを結び付け、新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催は、継続委託だったのですが、今年度から公募となりました。今年度の「協働商談会」の項に対して応募するか否かは、理事会で検討したいと思います。

(2) 第6回森林環境セミナー（森づくりのための森林等環境学習）

植樹から育林作業（下草刈など）の継続した活動により健全な森づくりを進めることができます。継続した森づくりの活動には、森林環境の必要性や森林分布・植物の知識も必要となります。森づくりに参加したことの無い方へ、森づくり活動の必要性を訴え継続的な森づくりボランティア活動を進めるための知識と理解、その重要性への認識を深めるために、下記の2種類のセミナーを開催します。

① 知識習得編：4月6日

1) 樹木（分類と学名・シュート・生活史・成長と環境）、森林（森林の種類・森林の持つ様々な働き）、森林を育てる技術（育苗・植栽・下刈り・除伐・間伐・枝打ち・主伐・搬出）等の森林生態を習得する。

2) 宮崎県内で活躍している森づくりボランティア団体の紹介を通して、森林ボランティアが身近な存在であることを知る。

3) 自然保護の必要性・大切さと、身近な樹木・植物観察を通して、森林に対する理解を深める。

※講師：1)は大学農学部教授、2)は横山謙一理事長、3)は県環境保全アドバイザー・県植物愛好会代表に依頼する。

② 作業体験編（竹林の整備）：5月11日

1) 森林ボランティア作業における安全衛生。

2) 荒廃した放置竹林における孟宗竹の伐採。

3) 伐採した孟宗竹を活用した地ごしらえ（竹棚作り）。

4) 伐採した孟宗竹をチップにする。

5) 上記の作業で使用する道具・機械の扱い方。

※講師：1)は林業安全技術指導員に依頼する。

※5年前から取り組んでいる放置竹林の整備の場所とノウハウを活用する。

・参加数：①知識習得編15人、②作業体験編10人（フィールドが狭いため少数で実施する）

・場 所：①森の学舎、②妖精の森

・助 成：「緑と水の森林ファンド」公募事業（国土緑化推進機構）



5. 活動の情報発信・啓発のための事業

活動を開催日前に告知することで活動の参加者を募集し、活動の内容を情報発信することで子どもの森の活動への理解を通して、自然環境の大切さ、地域を良くするための協働への参画を促していきます。

(1) Webサイトの運営

子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月4～6回のWebページ更新にて情報発信していきます。また、Webページでは発信しない細かい情報は、facebookにより情報発信していきます。

5

(2) 機関紙の発行

子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信11号」を、発行することで情報発信をする。発行時期は、5月とします。

10 (3) 事業案内チラシの作成

各事業を開催する2ヶ月前までに、宮崎県や関係行政機関の後援を申請して、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成します。

6. その他目的を達成するために必要な事業

15

(1) 活動拠点「森の学舎」の活用と整備

平成18年11月に、公募により門川町から譲受を受けた旧西門川小学校松瀬分校は、平成20年度に、日本財団と連合愛のキャンパからの助成金を受け、会員その他ボランティアによって修繕を進めてきました。また、ボーイスカウト等の団体を含めた一般開放、森林や環境等の図書や児童書・絵本を整備して環境文庫の設置などの整備を行ってきました。そして、平成21年度は、セブン-イレブンみどりの基金と門川町まちづくりプレイヤー支援、連合愛のキャンパからの助成を受け、五右衛門風呂小屋と釜戸小屋の製作と、薪ストーブの設置、新刊図書の購入を進めてきました。

行政が絡んでいない民間団体での廃校活用は他に例がなく、森の学舎は廃校になった学校の先駆的な活用例として注目をされています。森の学舎と周辺地域との関係も視野に入れ、環境問題を切り口とした地域コミュニティとしての役割など、廃校の更なる活用も目指していかなくてはなりません。

平成22年度で、急ぎ必要な森の学舎の整備は終わったと思われます。これからは、どのような整備が必要かを検討しながらの整備を進めていきます。そのための資金として、特別積立金の設定をしたいと思います。また、事業収入のひとつとして、森の学舎の開放と森の学舎で行なう環境学習の依頼があれば受入をしていきます。

4月28日から5月6日の期間を森の学舎の整備重点期間として、横山理事長が常時宿泊をします。この期間に、森の学舎の整備への参加をお願いします。

35 (2) NPO等委託・助成事業への公募

さらなる活動の発展とNPO法人としての財政充実と活動した人件費の確保、これまで蓄積しているノウハウの活用ができる委託・助成事業があれば、「協働商談会開催事業」以外にも理事会で協議して公募を考えたいと思います。

40 (3) 活動紹介のキャンペーン

毎月11日に、イオンの黄色いレシートキャンペーンが開催されています。昨年に引き続き、ホームワイド出北店・マックスバリュー南延岡店/岡富店・ホームワイド財光寺店・イオン日向店に投函ボックスの設置をお願いします。

黄色いレシートキャンペーンの日には、投函ボックスを設置している団体が、店舗内でキャンペーン活動を行うことが可能です。黄色いレシートキャンペーンが土・日曜日と重なる日に、黄色いレシートキャンペーンを利用して会員拡大と活動紹介のキャンペーンを実施したいと思います。会員拡大と活動紹介のキャンペーンに参加した会員への人件費を予算化します。

(4) 県北地協まつり

50 延岡市の妙田緑地で、連合宮崎県北地域協議会が主催する労働団体のお祭りが開催されます。

過去に連合愛のキャンパが授与された延岡市内のNPO等へブース参加の依頼がありました。子どもの森もブース参加へも案内があったので、子どもの森の活動紹介のためにブースを出展させます。

5 (5) 子どもの森が加盟する団体

今年も引き続き「みやざき森づくりボランティア協議会」に、団体会員として加盟します。同協議会での総会や研修会への参加をすることで、同じ森づくりや環境問題に取り組んでいる団体との交流ができます。また、同協議会が開催する研修会では、森づくり活動への考え方や森林作業の学習等を学べます。宮崎県内の森づくりを実施している団体の相互協力と交流、森づくりの研修が、本協議会の活動の中心となっています。

10

今年度も、協議会が開催する総会や研修、シンポジウムへの参加や協力を行っていきます。また、今年度も横山理事長は、みやざき森づくりボランティア協議会理事として関わっていきます。

15

みやざき森づくりボランティア協議会加盟団体（平成25年3月現在）

NPO 法人みやざき子ども文化センター（宮崎市）、木崎浜松林を守る会（宮崎市）、水源の森づくりをすすめる市民の会（宮崎市）、どんぐり 1000 年の森をつくる会（山之口町）、にわたこの会（日南市）、延岡アースディ実行委員（延岡市）、日向市ふるさとの自然を守る会（日向市）、宮崎グリーンヘルパーの会（宮崎市）、高千穂森の会（高千穂町）、ロキシー・ヒル（西都市）、MFV 会（大分県竹田市）、NPO 法人子どもの森（門川町）、環の会（串間市）、NPO 法人ひむかり山自然塾（宮崎市）、NPO 法人ひめしやら倶楽部（高千穂町）、日本熊森会宮崎支部（延岡市）、大塚台緑地林里山整備事業委員会（宮崎市）、ふる里のどんぐり森づくり会（北郷町）、NPO 法人 H-i-m-a-g-i-n-e（宮崎市）、延岡チェーンソーアートレンジャー部隊（延岡市）、さるなしの里（日向市）、めぐみの森づくり会（椎葉村）

20

25

7. 助成について

今年度の活動に関して予定している助成金は下表のとおりです。

助成名	助成元	助成事業	助成額
緑と水の森 林ファンド	国土緑化推進 機構緑	森づくりのための森林等環境学習	150千円 (平成25年度申請)
子どもゆめ 基金	国立青少年教 育振興機構	四季をまるごと体験 eco スクール	554千円
		川をたのしく親しもう	105千円
		森で過ごそう！森に学ぼう！	59千円 (宮崎県森づくり活動助成にも申請予定)

30

議案Ⅱ. 平成26年度活動計画書(案)

平成26年度 特定非営利活動に係る活動計画書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	77,000		正会員:15人×5,000、特別会員:2人×1,000
賛助会員受取会費	45,000	122,000	9人×5,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	160,000		イオン黄色いレシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄付 他
ボランティア受入評価益	--	160,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金		868,000	子どもゆめ基金:718千、緑と水の森林ファンド:150千
4. 事業収益			
自主事業収益	168,900		各プログラム参加費、森の学舎使用料
委託事業収益	0	168,900	
5. その他収益			
雑収入		3,000	損害保険返戻、預金利息
経常収益計			1,321,900
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	81,000		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう
臨時雇賃金	180,000		同上
ボランティア評価費用	--		
人件費計	261,000		
(2)その他経費			
修繕費	0		
諸謝金	201,500		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう
印刷製本費	215,700		ecoスクールチラシ印刷(業者)、川をたのしく、森で過ごそうはナー代
広告宣伝費	10,500		森林環境セミナー
Webページ運営費	0		
旅費交通費	89,950		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう
通信運搬費	7,190		同上
消耗品費	224,410		ecoスクール 他事業すべて
会議費	0		
損害保険料	60,420		ecoスクール、川をたのしく、森で過ごそう、妖精の森
租税公課	0		
雑費	0		
その他経費計	809,670		
事業費計		1,070,670	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	0		
臨時雇賃金	6,000		黄色いレシートキャンペーン
ボランティア評価費用	--		
人件費計	6,000		
(2)その他経費			
修繕費	30,000		プリンター保守料
印刷製本費	0		
Webページ運営費	0		
旅費交通費	12,000		物品購入、森づくりボランティア協議会の総会出席
通信運搬費	50,000		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	10,000		文房具、お茶代 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	3,500		総会
損害保険料	0		
租税公課	1,000		印紙、印鑑証明 他
施設管理費	160,000		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代) 他
雑費	1,000		
減価償却費	173,000		チャパースレッター2台、簡易炭窯
その他経費計	443,500		
管理費計		449,500	
経常費用計			1,520,170
当期正味財産増減額			-198,270
前期繰越正味財産額			2,345,979
次期繰越正味財産額			2,147,709
			森の学舎修繕費目的積立¥1,000,000含む

※会費 正会員：5,000円(ただし、特別会員は、1,000円。) 賛助会員：5,000円

特別会員とは、社会に出る前の大学生や専門学校生と同一世帯で2人め以降の正会員で、総会での議決権など、通常の正会員と同じ権利を有します。

- 5 ※目的積立：将来の大規模な森の学舎修繕に備えた積立をおこないます。現在、雨漏りがあるためシートで応急処置をしていますが、修繕費が認められる助成金にて雨漏り修繕をしたいと考えています。その時に、目的積立を取り崩して自己資金部分に充当させます。



議案Ⅲ. 定款改定(案)

10

改定前	改定後	理由
第2条 この法人は主たる事務所を宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘2番2号に置く。	第2条 この法人は主たる事務所を宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場3412番地1に置く。	事務局の引っ越しにより、主たる事業所の所在地を現理事長宅から森の学舎にする。



15



事務局/森の学舎：宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場 3412 番地 1

TEL 0982-95-7800 携帯：080-2696-5180

FAX 0982-63-0009

<http://www.kodomonori.info>

office09@kodomonori.info

facebook <https://www.facebook.com/npo.kodomonori>

協働創出市サイト <http://kyoudou.info>